



全日本建設交運一般労働組合
全国酸素部会新聞



発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
 大阪府堺市西区石津西町1番2番

TEL 072-276-4320

メール zenkoku.sanso@gmail.com

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>

日本産業 医療ガス協会への要請行動



1月27日(月)建交労中央運輸労使協議会が東京都内で開催され、全国酸素部会(以下部会)は日本産業・医療ガス協会(以下協会)への要請行動を行いました。業務が忙しい中、協会側からは専務理事・常任理事・常務執行役員4名が対応くださり、部会からは8名参加での要請となりました。

要請内容としては「産業・医療ガスの安全・安定輸送に関する要請書」として、荷主の発注条件が道路貨物輸送事業の労働環境に大きな影響を与えていることから運送事業者の経営と労働者の生活・健康、輸送の安全が担保出来るよう速やかに改善措置を講じ「改正貨物自動車運送事業法」遵守を周知徹底すること。昨年4月に施工された「改正改善基準告示」を周知徹底し長時間労働を抑制する改善に取り組むこと。液化高压ガスの漏洩事故防止・安全性

向上の為、不燃性ローリーにもメーカー独自の緊急遮断弁設置等を要請し、様々な意見が交換されました。

部会からは、「我々が働く現場は貨物自動車運送事業法と高压ガス保安法の制約があり、両法間にはグレーゾーンが存在し液化高压ガスローリーが除外されている部分がある。部会独自アンケート集約の中では時間指定がまだまだに多くある事や、違法性のある作業が改善されない、現場の意見や改善要望が荷主に伝わらない」等意見し、協会側からは物流担当のワーキンググループ学習会等で話をしている。先方メーカーからはコンプライアンスを徹底していると聞いているが各運輸会社ではどのような教育体制を設けているのか、との質問があり、各運輸会社でおこなっているコンプライアンス研修等の説明をいたしました。

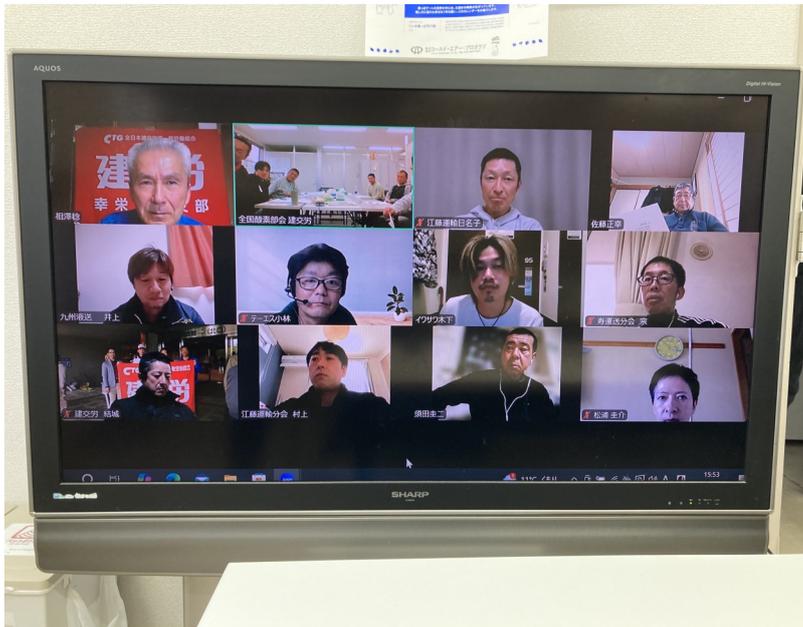
最後に今年9月開催予定の部会総会時に合わせて行う高压ガス輸送保安講習会への講師派遣のお願いをして要請行動を終えました。

今後も協会への要請行動を継続し安全・安心・安定輸送が出来る労働環境を目指し取り組んでいきます。

全国酸素部会部会長 相澤稔



2025全国酸素部会 春闘拡大委員会



2月2日(日)に2025全国酸素部会春闘拡大委員会がリモート形式で開催され、10職場から22名の参加がありました。九州在住ということもあり、リモートでの開催は赴くことがなかなか難しい私たちにとってはありがたいことであります。

まず相澤部会長より、ここ数年生活用品の値上げ、燃料や電力に関して補助金の縮小や打ち切り、実質的な賃金の低下が進んでおり、今年の春闘方針、統一要求を基に部会の総力をあげて春闘に挑まなければと力強い挨拶がありました。

近年、身近でもM&Aによる株式の売却が横行しはじめており、不安を抱えたまま仕事をされてる方もいるかと思えます。会社名、労働条件、賃金等、以前と何ら変わりはないと聞いてはおりますが、M&Aを行うということは何かを変えたいという目的・考えがあつての事。職場内や部会で意見交換や話し合

いをしながら、あらゆる状況を想定しておく必要があるかと思えます。

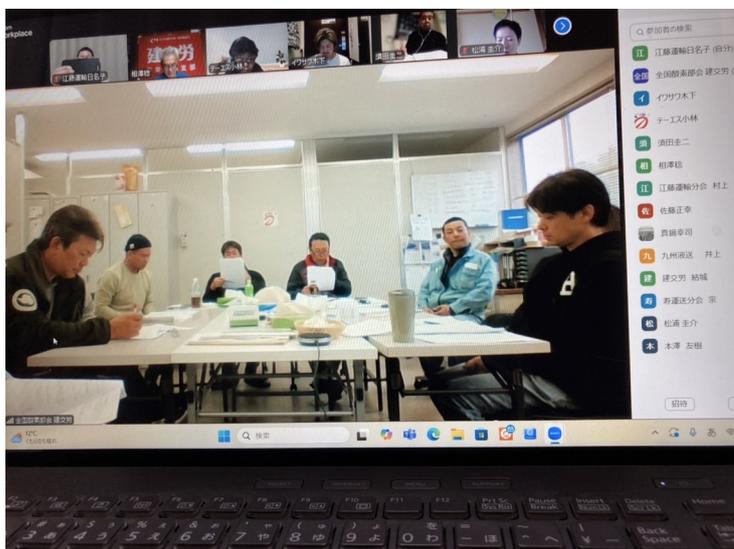
会議では、部会での昨年からの経過報告、日本産業医療ガス協会への産業・医療ガスの安全・安心輸送確保の要請、2024年末一時金の取り組み、今年広島で行われる建交労フェスタへの参加要請もありました。

組織拡大の取り組みについては、私たち江藤運輸分会でも悩ましいところでもあります。ここ数年脱退者が増えておりましたが、昨年その中から1名組合に戻ってきてくれ、部会でも少し明るい報告ができました。まだまだ厳しい状況ではありますが、組合員の結束を高め、また組合へ仲間が戻ってきてくれるよう頑張っていきたいと思えます。

今回の会議で全国酸素部会2025春闘方針、統一要求について皆で内容を確認、賃上げの要求金額も決定し、春闘へ向けての気持ちをより高めることができました。

2025春闘、各職場でより良い成果があげられることを願っております。

江藤運輸分会 村上博昭



帝京長岡・吉田教諭不当解雇撤回と 教壇復帰の闘い



現在新潟では、大きな争議が闘われています。それは帝京長岡高校による吉田教諭への不当労働行為による解雇です。学園は、吉田教諭を慕う生徒や保護者へも容赦ない攻撃を行い、その生徒を退学に追い込むといった非人道的な行為を学校という教育現場で行いました。

吉田教諭が、労働組合へ加盟したことを理由に2015年4月学園は、吉田教諭へ「けん責」「謹慎」の懲戒処分。その後、強化指定部(女子バレーボール部)の監督・顧問からの排除を行いました。2017年11月、学園によるこの行為を新潟県労働委員会は、不当労働行為と認定し「懲戒処分の撤回」「強化指定部監督復帰」「吉田教諭及び帝京長岡職組への謝罪文手交」の命令を下しました。学園は、命令を不服とし中央労働委員会へ不服申立てを行いました。中央労働委員会は2020年2月に和解勧告を出しました。「懲戒処分の撤回」「学園の労使交渉等での不適切発言に遺憾の意」「男子バレーボール部顧問就任」などです。しかし、学園は和解勧告を拒否し、吉田教諭へ解雇を通告するといった暴挙にでました。同年3月に学園は、吉田教諭への普通解雇を強行しました。ここから「帝京長岡・吉田教諭不当解雇撤回と教壇復帰の闘い」が始まりました。

2024年9月に新潟地裁において証人尋問が行われ、48席の傍聴席に対し80名以上の傍聴支援者が参加、2025年1月の最終弁論には60名以上の傍聴支援者が参加しました。この事件の新潟地裁あて要請署名は個人が11,795筆、団体が364筆となりました。建交労の各組織からも多くの署名を頂きありがとうございました。最終弁論報告集会では、「最近の学校では右傾化が進んできており、イエスマンの職員しかいなくなっている」といった話、「第三者機関へ対する訴えを方向転換した戦略が功を奏したのではないかと、今後このような闘いがあったとき参考・戦略となる」といったお話がありました。

判決は、裁判官から大きな事件だから十分な時間が必要という発言があり5ヶ月後の2025年6月26日13時30分となりました。今後ご支援よろしくお祈いします。

テーエス支部新潟分会 結城喜一

新入組合員紹介

戸来大勝 33歳です



2022年6月1日に幸栄運輸(株)に入社しました戸来大勝、33歳です。

この先働いていく中で現状の待遇で良しとせず、より良い労働条件を獲得していかなければいけないと思い加入を決めました。

組合活動は初めてで分からない事だらけですが、よろしくお祈いします。

幸栄運輸支部岩手分会 戸来大勝

照井恭輔 34歳です



2019年に幸栄運輸(株)に入社しました照井恭輔34歳です。

長年務めている大先輩が定年退職ということもあり、建交労に所属している人が岩手営業所に居なくなってしまう不安を感じ加入させていただきました。

組合活動に関しては初めてで分からない事だらけですが、先輩方にいろいろ教えて貰って頑張っていきたいです。ご指導ご鞭撻よろしくお祈いします。

幸栄運輸支部岩手分会 照井恭輔